

## 文書が映す安曇野の文化②

収蔵資料の中に航空写真があります。この資料は旧町村時代の固定資産税を徴収する担当課が、土地・建物の現況を把握するために作成したものです。我が家付近の資料を見ると撮影当時、田畑が多かったことがわかりました。そういえば、我が家から電車が見えなくなったのはいつ頃からなのでしょう。

- ・豊科 平成6、11、15年撮影分(290件)
- ・穂高 平成5、8年撮影分(275件) 平成12、14年撮影分(681件)
- ・堀金 平成6、8年撮影分(92件)
- ・三郷 平成5年撮影分(79件) 平成8、9、11、14年撮影分(316件)
- ・明科 平成6年撮影分(86件)



航空写真を使った地域学習講座 平成31年2月19日

どの地区もおよそ今から25年ほど前の写真が見られます。当時の写真を見ながら会話が弾むかもしれません。7月28日(日)には、「自由研究に活かす航空写真」と題した文書館講座を計画しています。

### 調査員募集

古文書等の地域資料が公開できているのは、資料調査を地元の古文書調査員の方が進めてくださるおかげです。文書館では、調査員として協力して下さる方を随時募集しております。興味のある方は、文書館までご連絡ください。

### 安曇野市文書館 案内図



### 利用案内

【開館時間】午前9時～午後5時  
 【休館日】土曜日、祝日、12月29日から1月3日  
 【駐車場】約50台(堀金支所・堀金公民館・堀金図書館共用)

### ACCESS

長野自動車道 安曇野IC から約5km、自動車で約10分  
 JR 大糸線豊科駅から約3km、自動車約6分

### 編集後記

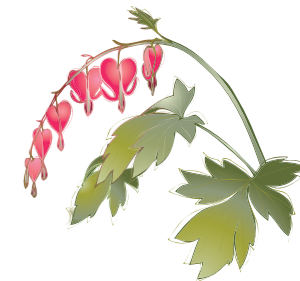
昨年10月に開館した文書館です。当日は台風24号の接近を受けて記念式典や講演会を延期させていただきました。関係の皆様にはご心配をおかけしました。3月末までの半年間で延べ718名の方にご利用いただきました。公開資料は、平成31年3月末現在で31,517点となり、開館時より12,143点増加しました。閲覧資料については目録を文書館ホームページで公開しております。利用者からは、事前に資料の確認ができるので利用しやすいとご高評いただいております。社会科学の先生方が研修に来られたり、地元の高校生が授業利用で来館する計画があったりと認知度が向上していることを実感しています。今年の11月には全国から文書館関係者等が集う大会を計画しています。また、この4月より白井吉見文学館の管理運営を任されています。皆様方の一層のお力添えをお願いいたします。(事務局)



安曇野市文書館だより第2号 編集・発行：安曇野市文書館 発行日：平成31年4月26日  
 〒399-8211 長野県安曇野市堀金烏川2753番地1 TEL.0263-71-5123 FAX.0263-71-5127  
 E-MAIL.bunshokan@city.azumino.nagano.jp URL.www.city.azumino.nagano.jp/site/bunsho/

# 安曇野市文書館だより

## 第2号



### 企画展のご案内

現在、西暦は国際標準として一般的な表記となっていますが、日本では西暦と同じように元号が使用されてきました。今年の5月1日に元号が変わりますが、政府からは公文書の年(度)の表記について西暦に統一する方針は示されませんでした。それだけ私たちの生活の中に元号が深く根付いているということです。

今回の企画展「改元に見る市民生活」は、明治以降の天皇代替わりや改元に関わって行われた行事・市民生活の姿を行政文書や学校日誌等を通して紹介しようとするものです。時代と共に変化してきた天皇代替わりや改元時の様子を見てみましょう。

文書館には当時の生活の様子を知る文書は多く収蔵されていますが、写真資料が不足しています。寄贈してもよい、お貸ししてもよいという方がおられましたら、文書館までご連絡ください。

【展示期間】2019年(平成31年)4月28日(日)～7月31日(水)  
 【展示会場】文書館閲覧コーナー

同時開催 **白井吉見 その人、その言葉**  
 【日時】4月10日(水)～5月31日(金) 【場所】安曇野市堀金支所1階市民活動室

### 第2回文書館講演会

【演題】  
**近現代における天皇制とは**  
 ～明治維新から令和に至るまで～

【講師】**瀬畑 源 先生**  
 (成城大学非常勤講師)

【日時】**5月6日(月)**  
 午後**1時30分**～午後**3時**  
 (開場:午後1時)

【会場】**堀金公民館講堂**

事前申込不要 **[参加費] 無料**



### 第2回文書館講座

**年号と暦の戦国時代**  
 ～甲信地方を中心に～

【日時】5月19日(日) 午後1時30分  
 【講師】逸見 大悟 (安曇野市教委文化課博物館係主査)  
 【会場】文書館講義室  
 【参加費】無料  
 【定員】30人(先着順)

### 第3回文書館講座

**学校日誌から見る天皇の代替わり**

【日時】5月26日(日) 午後1時30分  
 【講師】平沢 重人 (安曇野市文書館長)  
 【会場】文書館講義室  
 【参加費】無料  
 【定員】30人(先着順)

事前申し込みが必要です **TEL.0263-71-5123 / FAX.0263-71-5127**  
 bunshokan@city.azumino.nagano.jp

## 白井吉見文学館が市直営施設となりました

4月1日(月)より白井吉見文学館は安曇野市が管理運営をしております。堀金に生まれ、小説家・編集者・評論家・教育者として活躍された白井吉見を郷土の先人として顕彰するだけでなく、白井吉見が残した文書や生き方を学ぶを通して、現代に生きている自分の姿を見返し、これからの生き方を模索する場としていきたいと考えております。

### 利用について

- 休館日 土曜日、祝日、12月29日～1月3日
- 料金 無料
- 利用方法 受付のインターホンにてお知らせください。文書館職員が出向き、対応します。

### 年間予定について

- 講演会 7月・3月
- 参加費 無料  
※期日、会場、講師、演題は決まり次第お知らせします。
- 調査研究 資料のデジタル化、展示用複写物の作成

### 友の会について

- 会費 年会費 1,000円
- 問合せ 事務局(佐々木 72-2350)、文書館 71-5123

### 定例研修活動

- ・「自分を作る」朗読会
- ・筑摩書房草創期を学ぶ会
- ・白井吉見関連の本を読む会
- ・「安曇野の人びと」を語る会
- ・人類の古典を読む会
- ・視察研修旅行

### その他

総会、会報「常念とれんげ」発行、れんげ忌



## 開館記念講演会を行いました

2018年(平成30年)9月30日(土)に開館記念イベントとして予定されていた記念講演会ですが、台風24号の影響で12月2日(日)に延期し開催しました。松本市文書館特別専門員小松芳郎先生、長野県短期大学准教授瀬畑源先生から安曇野市文書館の役割や可能性についてご講演をいただきました。要旨を簡単にお伝えします。

当日の配布資料や瀬畑源先生の講演の映像は、文書館内で閲覧できます。



来賓として挨拶された定兼学全史料協会長

## 人物顕彰と文書館

小松 芳郎 先生

- ・安曇野市にゆかりのある10名の人物を紹介しながら、日記や手紙など市域の人物資料を発掘し、保存する機関が安曇野市に誕生したことの意味は大きい。
- ・以前に市川量造資料が松本市文書館に寄贈された。量造の奥様の実家は三郷であった。三郷にあった資料が今、松本市文書館にある。文書館があれば、そこに寄贈されたはずである。
- ・図書館や博物館に比べて、文書館の法整備は40年遅れている。
- ・文書館は資料等の保存・閲覧・調査研究の中心機関とならなくてはならない。法がいくら整備されても場所がなければ保存されない。法や場所が整っていても人がいなければ活用されない。人を育てていくことは自治体だけでなく、市民の責任でもある。

## 文書が映す安曇野の文化 ～安曇野市文書館への期待～

瀬畑 源 先生

- ・地域の人たちが何を資料として残していくのか、私たちが生きている時代もいずれは歴史研究の対象となる。電子情報も含め、安曇野市にとって重要な文章等を選別し、保存公開することが必要である。
- ・博物館、美術館は資料を収集保存するだけでなく、統一的な視点に基づき展示解説を行い、一定のメッセージを伝える機関として展示活動が中心となり学芸員により運営されている。
- ・図書館は「書物」を体系的に収集・保存・提供することで知識共有をめざす機関として利用者への書籍の提供を中心として司書により運営されている。
- ・文書館は、一点ものの文書資料を主に収集する。行政機関からの移管や民間からの収集を行い、利用者に情報提供を行うことを中心としてアーキビストにより運営されている。

### 平成31年度文書館企画予定

**展示** 「改元に見る市民生活」 4月28日(日)～7月31日(水)  
 【会場】文書館閲覧コーナー 「安曇野市の変遷を探る」 8月4日(日)～12月27日(金)

**講演会** 「近現代における天皇制とは ～明治維新から令和に至るまで～」  
 【会場】堀金公民館講堂  
 【参加費】無料 参加申込み不要  
 【講師】瀬畑 源 先生 5月6日(月)振替休日 午後1時30分～午後3時

**講座**  
 【会場】文書館講義室  
 【参加費】無料  
 【定員】各回30名  
 事前申し込みが必要です  
 TEL.0263-71-5123 / FAX.0263-71-5127 bunshokan@city.azumino.nagano.jp

- ①年号と暦の戦国時代～甲信地方を中心に～ 5月19日(日)午後1時30分～午後3時
- ②学校日誌から見る天皇の代替わり 5月26日(日)午後1時30分～午後3時
- ③自由研究に活かす航空写真 7月28日(日)午後1時30分～午後3時
- ④安曇野の平成 9月29日(日)午後1時30分～午後3時
- ⑤学校の開校・閉校 11月24日(日)午後1時30分～午後3時

各回ともに収蔵資料(公文書)を利用した講座です。普段見ることができない書庫の案内も計画しています。各講座の詳細は、広報あづみの、文書館ホームページ等でご案内します。多くの皆さんの参加をお願いします。

## 第45回全史料協全国大会 安曇野大会開催 (全国歴史資料保存利用機関連絡協議会)

発足は1976年(昭和51年)。記録資料を保存・利用することを目的とした全国組織です。

【期日】11月14日(木)・15日(金)  
【会場】安曇野市豊科公民館

当日は、市民の方もご参加いただける講演会(参加費無料)を開催予定です。ふるってお越しください。詳細は後日、広報あづみのや文書館ホームページでお知らせします。